

# X-MON BOX IP アドレス設定方法 (RHEL/CentOS7 系)

1、X-MON サーバへモニタとキーボードを接続(仮想環境の場合はコンソール接続)し、  
root ユーザにスイッチします。

2、下記のコマンドでネットワーク設定ファイルを編集します。

- 初期設定シートに記載の IP アドレスが「DHCP」のお客様

```
# vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-enp4s0
```

初期の設定ファイルは以下のようになっています。

```
DEVICE="enp4s0"  
BOOTPROTO="dhcp"  
IPV6_AUTOCONF="yes"  
IPV6INIT="yes"  
ONBOOT="yes"
```

- 初期設定シートに IP アドレスが指定されているお客様

```
# vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-enp4s0
```

黄色の箇所がお客様指定のものとなっております。

```
DEVICE="enp4s0"  
BOOTPROTO="static"  
IPADDR="192.0.2.120"  
GATEWAY="192.0.2.254"  
PREFIX=24  
IPV6_AUTOCONF="yes"  
IPV6INIT="yes"  
ONBOOT="yes"
```

各項目は以下を意味します。

DEVICE	デバイス名
BOOTPROTO	IP アドレス指定方法 DHCP で IP を割当てるときは dhcp と指定します。 固定で IP を割当てるときは static と指定します。
ONBOOT	起動時の自動起動の有無 (yes でサーバ起動時にインタフェースも起動)

以下は IP アドレスが指定されているお客様のみ記載されている項目です。

IPADDR	IP アドレスを指定
PREFIX	プレフィックスを指定
GATEWAY	デフォルトゲートウェイアドレス

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス(水色の箇所)を任意の値に変更します。

**static** の箇所が **dhcp** となっている場合は、**static** に書き換えてください。

例

```
DEVICE="enp4s0"  
ONBOOT="yes"  
BOOTPROTO="static"  
IPADDR="203.0.113.10"  
GATEWAY="203.0.113.254"  
PREFIX=24
```

下記のコマンドで設定を反映させます。

```
# systemctl restart network
```

```
[root@X-MON ~]# systemctl restart network  
[root@X-MON ~]#
```

エラー等何も表示されなければ、反映作業は完了です。

3、下記のコマンドを発行し、設定が正しく反映されていることを確認します。

```
# ip addr show enp4s0
```

```
[root@X-MON ~]# ip ad sh enp4s0  
2: enp4s0: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP group default qlen 1000  
    link/ether 82:00:00:00:00:00 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff  
    inet 203.0.113.10/24 brd 203.0.113.255 scope global noprefixroute enp4s0  
        valid_lft forever preferred_lft forever  
    inet6 fe80::d250:93ff:fec3:3741/64 scope link noprefixroute  
        valid_lft forever preferred_lft forever
```

3 行目の **inet** の **○○○/○○** が、**IPADDR**、**PREFIX** で指定した値になっていることを確認します。

以上で、IP アドレスの設定は完了です。

Web ブラウザで X-MON の管理画面を表示するには、<http://<設定した IP アドレス>> を開きます。